

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年2月25日 (2010.2.25)

【公表番号】特表2009-523870(P2009-523870A)

【公表日】平成21年6月25日 (2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2008-550714(P2008-550714)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/3437 (2006.01)

B 2 3 K 26/20 (2006.01)

B 2 3 K 26/32 (2006.01)

C 0 9 D 5/33 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/3437

B 2 3 K 26/20 3 1 0 A

B 2 3 K 26/32

C 0 9 D 5/33

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月6日 (2010.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

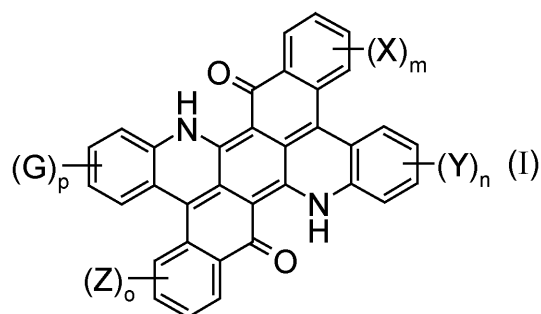
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) :

【化 1】



(式中、X、Y、Z 及び G は、互いに独立して、直鎖もしくは分岐鎖の $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_7 \sim C_{12}$ アラルキル、 $C_6 \sim C_{10}$ アリール、飽和又は不飽和の $C_3 \sim C_9$ 複素環、ハロゲン、 OR' 、 CF_3 、 $COOR'$ 、 $CONR'$ 、 R'' 、 NO_2 、 $NR'R''$ 、 SO_3H 又は $SO_2NR'R''$ であり；

R' 及び R'' は、互いに独立して、水素、直鎖もしくは分岐鎖の C₁ ~ C₈ アルキル、C₃ ~ C₆ シクロアルキル、C₆ ~ C₁₀ アリール又は C₇ ~ C₁₂ アラルキルであり、窒素に結合する場合、R' 及び R'' は、それらが結合する窒素原子と一緒にあって、非中断又は O、NH もしくは N (C₁ ~ C₄ アルキル) により中断されている 5 -、6 - 又は 7 - 員環を形成することもでき；

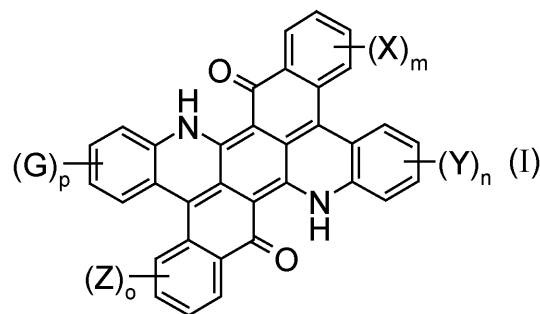
m、n、o 及び p は、独立して、0、1、2、3 又は 4 であり、m、n、o 又は p が、2、3 又は 4 の場合、各 X、Y、Z 又は G 置換基は、他のすべてから独立して、上記で定義した基である）

のテトラベンゾジアザジケトペリレン (TBDKP) 着色剤を、波長 800 ~ 1200 nm で 50 パーセントを超える赤外線 (IR) 反射率を有機又は無機の基材に付与するために有効な量含有する組成物を、基材に混和するか、基材の表面に適用することを含む赤外線 (IR) 反射性の有機又は無機の基材の製造方法。

【請求項 2】

波長 800 ~ 1200 nm、好ましくは波長 1000 nm で約 50 パーセントを超える反射率を有する赤外線反射性組成物であって、熱可塑性、ゴム弾性、架橋性又は本質的に架橋性のポリマーと式 (I)：

【化 3】



(式中、X、Y、Z 及び G は、互いに独立して、直鎖もしくは分岐鎖の C₁ ~ C₁₂ アルキル、C₃ ~ C₆ シクロアルキル、C₇ ~ C₁₂ アラルキル、C₆ ~ C₁₀ アリール、飽和もしくは不飽和の C₃ ~ C₉ 複素環、ハロゲン、OR'、CF₃、COOR'、CONR'R''、NO₂、NR'R''、SO₃H 又は SO₂NR'R'' であり；

R' 及び R'' は、互いに独立して、水素、直鎖もしくは分岐鎖の C₁ ~ C₈ アルキル、C₃ ~ C₆ シクロアルキル、C₆ ~ C₁₀ アリール又は C₇ ~ C₁₂ アラルキルであり、窒素に結合する場合、R' 及び R'' は、それらが結合する窒素原子と一緒にあって、非中断又は O、NH もしくは N (C₁ ~ C₄ アルキル) により中断されている 5 -、6 - 又は 7 - 員環を形成することもでき；

m、n、o 及び p は、独立して、0、1、2、3 又は 4 であり、m、n、o 又は p が、2、3 又は 4 の場合、各 X、Y、Z 又は G 置換基は、他のすべてから独立して、上記で定義した基である）；

のテトラベンゾジアザジケトペリレン (TBDKP) 着色剤とを含む組成物。

【請求項 3】

コーティング組成物である、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 4】

請求項 3 記載の組成物で被覆された基材を含む製品。

【請求項 5】

請求項 1 記載の式 (I) の TBDKP 着色剤を、IR 吸収材を含有する溶融可能な基材の表面と接するポリマー組成物に混和し、次いで、好ましくは 700 ~ 2000 nm の波長範囲のレーザーからの IR 放射線を、式 (I) の着色剤を含有する層からその下にある基材に通し、放射点において、2 つの材料と一緒に溶融させるのに十分な熱を発生させる、製品のレーザー溶接の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(式中、X、Y、Z及びGは、互いに独立して、直鎖もしくは分岐鎖の $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_7 \sim C_{12}$ アラルキル、 $C_6 \sim C_{10}$ アリール、飽和又は不飽和の $C_3 \sim C_9$ 複素環、ハロゲン、 OR' 、 CF_3 、 $COOR'$ 、 $CONR'R''$ 、 NO_2 、 $NR'R''$ 、 SO_3H 又は $SO_2NR'R''$ であり；

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

特に好ましくは、X、Y、Z及びGは、互いに独立して、直鎖もしくは分岐鎖の $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、F、Cl、 OR' 、 NO_2 、 $NR'R''$ 又は SO_3H であり、m、n、o及びpは、独立して、0、1又は2である。